

平成 30 年 3 月 20 日

3 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では天候も良く、間伐事業を中心にフル生産が続いており、入荷は平年を上回っている。製品需要の一服感と出材量増加により需給が大幅に緩和する中で、大手製材工場は順調な原木手当を行っている。スギは柱材の引き合いが弱まり値を下げ、中目材の並材も弱保合。ヒノキは品薄状態が続き、引き合いは強く、柱材・土台・中目材すべて強保合いで推移している。

群馬県でも原木は順調に出材されており、集荷はしやすく、工場土場は一杯の状況。各製材工場とも需要に一服感が見られる。原木価格も下落気味なので、在庫の手当買いが多い。公共工事以外の受注は少ないが、雪解けにあわせて、山間部の受注は多少ある。スギの 4m90 角、4m105 角、ヒノキの 4m90 角、4m105 角は品薄であるが、欠品せずに間に合っている。ただし貫板、ラス下等は欠品している。

2. 米材

米加北西部の伐採は平年通り行われている。米国では在庫が順調に積み上がっているが、カナダでは依然材不足が深刻であり、米加間でかなりの温度差がある。ウェアハウザー社の 3 月積み対日価格(推定)は据え置き of \$1,040。順調な在庫積み上げが据え置き要因だが、米国製材品価格は上昇を続けており、米国内の製材工場の製材意欲が旺盛な中で、出材増と産地製品価格高騰で綱引き状態。ランダムレングス紙の 15 種平均価格(3/2)は \$512/M で 1 月頭に比べ 6.7% アップ。米国住宅着工も陰りが見えず、価格高騰が止まるタイミングは不透明。SPF/DF 製材品の米国内価格はともに \$500 台の大台に乗り、史上最高値を更新中である。

1 月の原木入荷量は 241 千 m^3 、出荷量も 233 千 m^3 と好調、在庫は昨年 12 月より 8 千 m^3 増の 206 千 m^3 となったが、在庫率 0.97 カ月と依然 1 カ月を割ったままである。国内の米材製材工場は不需要期ではあるが、昨年末に欠品を起こした製品の在庫積み増しにフル操業。

1 月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は 26 千 m^3 (前月比 8.7%減)、出荷量は 25 千 m^3 (同 3.8%減)、在庫量は 45 千 m^3 (同 2.9%増)。決算期が近いことから各社受注棟数を減らしており、荷動きは芳しくない。

3. 南洋材

サバは未だ雨季で出材は低調なため、原木在庫は恒常的に不足気味。サラワクも同様である。インドネシアでも出材低調で原木価格は全樹種で上昇中。PNG、ソロモンは慢性的に天候不安定で、ソロモンでは中国の買い一辺倒で、昨年日本向け配船は1回のみで今年も期待できない。3月予想の原木入荷量は15千 m^3 、出荷は15千 m^3 で横ばい、在庫は入荷が低水準のため、今後も減少。製品入荷量は40千 m^3 と少ない。1、2月は全般的に気候の影響のためか、需要低迷で販売は芳しくない。

4. 北洋材

冬山伐採期で搬出は順調ながら、アカマツ良材の絶対量が不足し、日本向け供給が急減している。良材輸入製品は\$500台に値戻しした。輸送コスト(貨車、コンテナ運賃)の高騰、ルーブル高によりコストは上昇。原木輸出価格はアカマツ、カラマツが材不品で強保合、現地挽き完成品は底を打ち急反転。アカマツ原板は供給不足により\$380から\$390へ上昇。現地挽き完成品の3cm×4cmの在庫は減り、価格反転。3mタルキは入荷不足。栈木も入荷不足で荷動き旺盛。1月原木入荷量は3千 m^3 、出荷量13千 m^3 、在庫量は11千 m^3 の1.14カ月。製品入荷量は56千 m^3 、関東の現地挽き完成品の在庫は減り、供給激減の中、引き合い強く\$20以上の上昇。

5. 合板

国産材原木価格は強含みでスギ、カラマツとも不足状態が続いている。ロシア材は寒波の影響で出材が限定的で船積みに遅れが生じている。米材は先月から過去最高値を更新中。南洋材は引き続き高止まり状態。1月の国内合板生産量25.7万 m^3 のうち針葉樹合板は24.5万 m^3 、出荷量25.2万 m^3 と昨年の10月以来出荷量が生産量を上回り、1月としてはかなりの高水準になった。在庫量は9.8万 m^3 、このうち構造用合板は8.2万 m^3 と依然として水準が続いている。国産針葉樹合板の3月販売価格は12mmが20円、厚物が40円の値上げを打ち出しており、まだまだメーカー主導の展開が続く模様。針葉樹合板は9mm、15mm、輸入合板では薄物、塗装合板、ラワン構造用9mmの不足感が続いているが、ややピークアウトした感もある。1月の合板輸入量は27.4万 m^3 で前月より4万 m^3 以上の大量輸入となった。産地のインドネシアでは多くのシッパーが原木不足に苦しんでいる。マレーシアでは工場を数日間止めざるを得ないシッパーも出ており、日本向け契約残の消化も進んでいない状態。国産針葉樹合板は3月に値上げを打ち出したが、荷動きが落ち着いており、先行き全体的には大き

な乱れは考えづらい。また輸入合板の動きも落ち着いているが、現地状況から見て、まだまだ強気の展開が続いていくだろう。

6. 構造用集成材

ラミナ入港は順調で各社とも在庫は多い模様。第2・四半期のラミナ交渉では日本側の買い意欲はやや少ないと予想される。原料価格の高騰はしばらく続くと予想される。国内メーカーの受注、RW 梁桁の販売も落ち着いている。RW 柱、WW 柱、間柱の荷動きは相変わらず鈍い。ラミナ価格高騰を受けて各メーカーは全般値上げの方向で、RW 平角 65,000 円/m³を目指しているが、64,000 円止まりで値上げしづらい状況にある。国内の価格動向は一服感があるが、4 月以降荷動きは良くなると見ている。輸入 RW 集成平角については、仕入れを抑える動きと欧州材全般に先高観があるため、仕入れを急ぐ動きがあり、二極化している。

7. 木材チップ

大雪の影響でチップ原木の入荷は減少。FIT に人員、原木とも流れ、在庫は減少している。解体材の入荷は日本海側で減少。製紙用針葉樹チップの使用量が増加しており、増集荷傾向が継続。燃料用は大雪の影響で入荷量は 20~30% の操短、代替燃料の使用を実施。製紙用針葉樹チップ及び針葉樹原木ともに在庫が減少しており、各社は在庫を積み増しに動いており、価格修正あり。輸入チップは中国等の外的要因や為替レートの変動に伴い、先行き不透明感がある。

8. 市売問屋

構造材は国産材、外材とも荷動きは良くない。都内はマンション関係が多いので、造作材は無垢材から集成材(積層材)に移行している。市場内には不足感があるが、材木店の仕事量が少ないせいも、静かな動きである。国産材、外材とも値上げを唱えているが、浸透するにはまだ時間がかかりそうである。

9. 小売

スギ KD 柱・小割・板割、ヒノキ KD 柱・土台は保合。外材はアカマツタルキ良材は品薄ながら保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPF、米マツ KD は強保合、WW 間柱は保合。造作材ではスプルー、ピーラー平割保合、タモ平割強保合。集成材は WW 柱・梁、RW 梁・柱ともに保合。針葉樹合板は保合、型枠、塗装型枠及び輸入合板(とくに 2.5、4、5.5mm) は品薄で強保合。新築工事等が動き出すので材料高騰が気になりである。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	↗
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
(国内挽き)		米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→